

あいかわ 議会だより

第174号

令和4年7月15日発行

責任者 議会議長 渡辺 基
年4回発行・本号14ページ



町めぐり
昭和の面影
みつけた！
お宝さがし



今では貴重となったホーロー看板！
昭和の時代には、いろいろなお店の
軒下に、ホーロー看板が取り付けら
れていました。この看板を見るとど
こか懐かしい感じがします。

- ・4回目のワクチン接種及び低所得の子育て世帯に対する
生活支援特別給付金に関する補正予算を可決……………P.3
- ・令和3年度政務活動費収支報告……………P.10
- ・第9回町民との意見交換会を3年ぶりに開催……………P.12・13

議会クイズ 抽選で3名の方に
商品券が当たる！

スマホで簡単応募

詳しくはP11をご覧ください



令和4年7月15日

2022 愛川町議会

令和4年第2回愛川町議会が、5月17日から27日まで、会期11日間（本会議開催日4日間）にわたり開催され、人事、条例及び補正予算など、24件の町長提出議案を審議し、全議案を可決するとともに、請願1件及び陳情2件を審議しました。

人事議案

◎固定資産評価審査委員会委員の選任（賛成全員）

任期満了に伴い、新たに次の方を選任することに同意したものです。

三増在住

吉川 裕治 氏

◎農業委員会委員の任命（賛成全員）

任期満了に伴い、次の11名の方を選任することに同意したものです。

半原在住

五月女 智一 氏

角田在住

諏訪部 衛人 氏

三増在住

田村 吾郎 氏

中津在住

落合 貢 氏

中津在住

馬場 洋一郎 氏

田代在住

小島 浄一 氏

三増在住

加藤 一男 氏

角田在住

篠崎 庄次 氏

中津在住

齋藤 増雄 氏

中津在住

足立原 実 氏

中津在住

薄 秀一 氏

専決処分の承認
及び条例議案◎愛川町国民健康保険税
条例の一部改正
（賛成全員）

「地方税法施行令」の一部改正に伴い、国民健康



田代運動公園で遊ぶ兄と妹

令和4年第2回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
	17	火	本会議	請願・陳情の委員会付託 町長提出議案の説明、 質疑、討論、採決 町長提出議案の説明のみ
	19	木	本会議	一般質問（6人）
	20	金	本会議	一般質問（4人）
5	23	月	総務建設 常任委員会	付託案件の審査、 所管事務調査
	24	火	教育民生 常任委員会	付託案件の審査、 所管事務調査
	27	金	本会議	町長提出議案の説明、 質疑、討論、採決 付託案件の審査結果 の委員長報告、 質疑、討論、採決

◎令和4年度愛川町一般
会計補正予算（第1号）
（賛成全員）

増額するため、専決処分を承認したものです。
補正額の詳細は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ832万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を31億9,592万8千円としたものです。

専決処分の承認
及び補正予算
（第3号）
（賛成全員）◎令和3年度愛川町介護
保険特別会計補正予算
（第3号）
（賛成全員）

本年3月定例会において、介護保険給付費の伸び率を考慮し、増額を行いました。令和3年度の最終支払額を確認したところ、「居宅介護サービス給付費」が想定を上回ったことから、不足分を



住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対し、1世帯あたり10万円の臨時特別給付金（全額国庫補助金を活用）を給付する事業において、対象世帯からの申請に応じて、速やかに給付できるようにするため、専決処分を承認したものです。
補正額の詳細は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億3,840万円を追加し、一般会計の総額を136億1,040万円としたものです。

条例議案

◎愛川町議会議員及び愛
川町長の選挙における選
挙運動の公費負担に関す
る条例の一部改正
（賛成全員）

「公職選挙法施行令」の一部改正に伴い、選挙運動の公費負担限度額が物価の変動等により、引き上げられたことから、町の選挙における公費負担限度額についても引き上げをするため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日 公布の日】

投票箱

補正予算

◎令和4年度愛川町一般会計補正予算第2号

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億3,715万5千円を追加し、一般会計の総額を137億4,755万5千円としたものです。

主な内容は、新型コロナウイルスの4回目のワクチン接種を実施するため、集団接種会場の問診医師への謝金や看護師業務委託などを見込んだ費用です。

事件議案

■財産の取得について

◎塵芥収集車購入

(賛成全員)

取得価格

811万2,484円

納入者

株式会社モリタエコノス

神奈川支店

納入期限

令和5年2月28日

◎小学校給食用食器購入

(賛成全員)

取得価格

839万2,065円

納入者

有限会社座間厨房

納入期限

令和4年10月28日

億7,121万8千円としたものです。

主な内容は、コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻などの影響による物価高騰に伴い、低所得の子育て世帯に対する生活支援として、児童1人あたり5万円を給付するための費用です。



小学校給食の様子

◎高規格救急車購入

(賛成全員)

取得価格

2千172万5千円

納入者

神奈川トヨタ自動車株式会社 特販部

納入期限

令和5年3月7日



新しい救急車に更新して町民の命を守ります

◎高規格救急車救急資器材購入

(賛成全員)

取得価格

1千644万5千円

納入者

株式会社ワコー商事

納入期限

令和5年3月7日

■損害賠償額の決定

◎施設管理の瑕疵に係る損害賠償

(賛成全員)

損害賠償額

46万1,032円

町道半原206号線の道路下にブロック擁壁を支える基礎部分の表土の一部が劣化したため、ブルーシートをガードレールに結び付け、基礎を一時的に養生していました。ところが、そのブルーシートが強風にあおられたことにより、重しとして着けていた土のうが持ち上げられ、自宅に駐車中の相手方車両に落下し、損害を与えたため、本町の義務に属する損害賠償額を定めたものです。

■工事請負契約の締結について

◎令和4年度平山下平線第1工区改良工事

(賛成全員)

請負契約金額

9千919万3,600円

請負契約の相手

鈴木土建株式会社

工期

本契約締結の日から

令和5年3月31日まで



工事が予定されている平山大橋付近の様子

個人総括質疑

5月27日の本会議では、事件議案を対象に、小林議員が個人総括質疑を行いました。質疑項目の一部を紹介します。

財産の取得について (小学校給食用食器購入)

■食器の購入にあたり今回の材質を選定した理由について 他

「マチイロ」アプリの紹介

本町を含む各自治体の広報紙を閲覧できる無料アプリ「マチイロ」でも「議会だよりあいかわ」をお届けしています。左記にある2次元コードから専用ページにリンクしますので、ぜひご活用ください。



令和4年 第2回定例会 議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第29号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
町長提出 第30号～ 第40号	農業委員会委員の任命について	同 意
町長提出 第41号	専決処分の承認について（愛川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	承 認
町長提出 第42号	愛川町議会議員及び愛川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第43号	専決処分の承認について（令和3年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第3号））	承 認
町長提出 第44号	専決処分の承認について（令和4年度愛川町一般会計補正予算（第1号））	承 認
町長提出 第45号	令和4年度愛川町一般会計補正予算（第2号）	可 決
町長提出 第46号	財産の取得について（塵芥収集車購入）	可 決
町長提出 第47号	財産の取得について（小学校給食用食器購入）	可 決
町長提出 第48号	財産の取得について（高規格救急車購入）	可 決
町長提出 第49号	財産の取得について（高規格救急車救急資器材購入）	可 決
町長提出 第50号	損害賠償額の決定について（施設管理の瑕疵に係る損害賠償）	可 決
町長提出 第51号	令和4年度愛川町一般会計補正予算（第3号）	可 決
町長提出 第52号	工事請負契約の締結について（令和4年度平山下平線第1工区改良工事）	可 決
陳 第3号 情 号	女性トイレの維持及びその安心安全の確保についての陳情	趣旨了承
陳 第4号 情 号	国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	不 採 択

議案の内容はP2～3を参照

●意見が分かれた議案

○…賛成、●…反対

議案番号	議員名 議案等の件名	公明党			日本共産党 愛川町議員団			あいかわの聲			令和 あいかわ			あすかみらい			無所属	議決結果
		井 出 一 己	佐 藤 り え	岸 上 敦 子	鈴 木 信 一	井 上 博 明	小 林 敬 子	熊 坂 崇 徳	渡 辺 基	玉 利 優	阿 部 隆 之	馬 場 孝 之	茅 山 正 樹	小 島 総 一 郎	木 下 眞 樹 子	佐 藤 茂		
請 第1号 願 号	消費税インボイス制度の実施を当面延期するよう求める意見書を国に提出することを求める請願書	●	●	●	○	○	○	●	加 わ り ま せ ん 議 長 は 採 決 に あ り ま せ ん	●	●	●	●	●	●	●	●	不 採 択

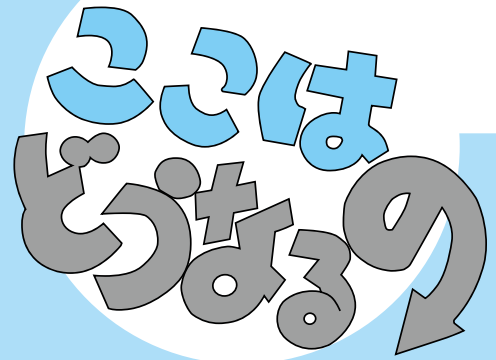
●陳情（審査の結果机上配付となったもの）

受理番号	受理年月日	件名	陳情者
1	R4.3.18	愛川町の障害者雇用の神髄 法定雇用率の2.3%よりの増加と三障害分けた雇用と知的精神の枠組みの厳格な定義を求め障害者雇用の増員を求める陳情	厚木市鳶尾二丁目26番8号ベルフラワー202 内木 良
2	R4.3.18	日本の国防の神髄 緊迫化するロシアウクライナ侵攻に対しては台湾有事の最悪のシナリオも想定して日本政府は毅然とした核シェアリング、原発再稼働、ファイブアイズやNATOやオーストラリアやインドとの準同盟との強化を求める意見書を国に提出する事を求める陳情	厚木市鳶尾二丁目26番8号ベルフラワー202 内木 良

一般質問

紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧になれます。
なお、第2回定例会の会議録は、9月頃に完成予定です。

※各議員の写真の横にある2次元コードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧になれます。



茅 孝之 議員 P.5

・街路灯の維持管理について ほか

玉利 優 議員 P.8

・成年年齢の引き下げによる消費者被害対策について ほか

鈴木 信一 議員 P.6

・本町の女性管理職の現状と課題について ほか

小林 敬子 議員 P.8

・市街化調整区域内の生活環境保全について ほか

山中 正樹 議員 P.6

・半原水源地跡地の利活用について

井上 博明 議員 P.9

・小・中学校におけるいじめ解消に向けた取り組みについて ほか

阿部 隆之 議員 P.7

・総合的な介護相談窓口の設置について ほか

熊坂 崇徳 議員 P.9

・行政事務の効率化について

岸上 敦子 議員 P.7

・地域共生社会の推進について ほか

馬場 司 議員 P.10

・今後のまちづくりに対する想いについて

**電気料やLED補助
愛甲商工会と連携**
町長 町では、商店会の費用負担の軽減を図るため、電気料等の全額補助に加え、LED化に伴う一部補助をしています。今後は愛甲商工会と連携し、町としてどのような支援や協力ができるか検討を進めていきたいと考えています。

問 町内には商店会が管理している24本の街路灯が設置されています。今後は、全ての街路灯をLED化して、町で管理することが望ましいと思いますが、町の考えを伺います。

商店会の街路灯 町管理でLEDへ



かや
茅



たかゆき
孝之 議員

県や商工会と連携 支援事業を推進

問 後継者不足による企業の廃業などは、様々な分野で起こっており、中小企業の後継者問題については、社会的問題として多く取り上げられています。企業の減少は、町の活性化を失い、雇用の減少、法人税の減収など、大きなダメージとなります。そこで、後継者問題について取り組んでいく必要があると考えますが、町の考えを伺います。

町長 町では後継者支援事業承継入門セミナーを開催し、税理士による事業承継に係る優遇税制の紹介のほかに、金融機関などによる融資制度や相談支援機関の案内など、事業承継問題を早期に検討するための支援を行っています。
今後は県や商工会などと連携を図りながら、様々な後継者支援事業を推進し、地域経済の持続的な発展と雇用の確保に努めていきたいと考えています。

中小企業後継者不足解決へ



中津商店街の街路灯

女性管理職増へ課題解決の方策



すずき 鈴木



しんいち 新一 議員

問 本町の女性管理職の割合を増やすためには、男性の家事・育児時間を増やすことができるように、働き方を見直す必要があります。そこで、「勤怠管理システム」を導入する考えについて伺います。

勤怠管理システム導入に向けて検討

総務部長 業務量の偏りなど適切な人員配置に繋げるよう、職員一人ひとりの就業状況を正しく把握するために、勤怠管理システムの早期導入を検討していきます。

「パートナーシップ宣誓制度」理解を深める取り組み

問 本町でも、本年度から「パートナーシップ宣誓制度」が創設されました。今後は、学校、企業など一般に向けた啓発活動を行い、性的少数者に関する理解を深めていくことが大切であると考えます。そこで、町の具体的な取り組みについて伺います。

性的マイノリティ講演テーマ検討

民生部長 本町では、毎年12月の人権週間に合わせて、「人権啓発のつどい」を開催しており、幅広い人権問題の中から特定の問題に偏ることがないよう、毎回異なったテーマで講演会を実施しています。

本年度は、パートナーシップ宣誓制度の創設初年度でもあることから、性的マイノリティに関する講演会のテーマを検討していきます。

「半原水源地跡地」新型コロナがまん延現状での利活用は



やまなか 山中



まさき 正樹 議員

問 新型コロナウイルスがまん延したこの2年は、観光の客足が遠のくなど状況が変化しています。現状における利活用について町の考えを伺います。

地下工作物等の撤去情勢見極めて慎重に

町長 敷地造成等の基盤整備が必要となりますので、本年度は地下工作物等の撤去工事を予定しています。

今後は、現行の計画をベースとし、町の将来を見据えた中で社会情勢を見極め、慎重に肅々と取り組んでいきたいと考えています。

水源地活用の経済効果

問 平成28年度基本構想策定から6年が経過しています。これまでの支出と収入、またこれからのインシャルコストとランニングコストを合わせた総投資額と町にもたらす経済効果の見込みについて伺います。

町内商店の波及地域資源の相乗効果

企画政策課長 平成28年度からの6年間の累計で、用地取得などこれまでに要した事業費は約2億7,100万円、財源は国・

県の補助金が約5割、地方債が約1割、一般財源が約4割となっております。今後の事業費については、約16億6,500万円を見込んでいます。

また、この拠点整備をすることにより、拠点内での売上げの増加はもちろんのこと、町内商店などへの波及効果のほか、宮ヶ瀬ダムや中津川等の地域資源と総合的な連携を図り、その効果が相乗的に町全体へ波及することを期待しています。



現在の半原水源地跡地の様子

- ※1 インシャルコスト：初期費用
- ※2 ランニングコスト：維持管理費用

教育長 旧桜台南公民館に開設した相談指導教室「絆」への通室を促し、基本的な生活習慣の改善に向けた相談指導を行っています。児童・生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援を継続し、個別最適な学びが得られるよう努めていきます。

相談指導を行う
個別最適な学び

問 不登校児童・生徒の人数は年々増加する一方で、集団生活などを通じ、社会性を育むことも必要です。

そこで、本町の不登校児童・生徒の支援について伺います。

不登校児童生徒
社会性育む支援



あべ たかゆき
阿部 隆之 議員



総合的な介護相談窓口の設置

問 核家族化が進んでいる現在、離れて住む親を呼び寄せて自宅で介護をしなければならぬケースも考えられ、その際には、親の年金や保険などの問題、住所変更から世帯主の問題等に至るまで広範囲の問題への対応を迫られます。

相談ニーズ高まる
状況しっかり注視

町長 今後2025年には団塊の世代が75歳以上となり、高齢者介護に対する相談ニーズがさらに高まることが想定されますので、総合的な介護相談窓口については、地域包括支援センターと民生部各課との緊密な連携の中で、状況をしっかりと注視しながら、相談窓口の充実が図られるような様々な角度から研究していきます。



問 粗大ごみの戸別訪問収集は電話のみの受付に加え、インターネットでの申込みを望む声がありますが、電子申請を導入する考えについて伺います。

一つの有効な手段
早期導入に努める

町長 住民ニーズが多様化する中、電子申請を導入することは、一つの有効な手段であると考えていますので、申込者の利便性に配慮した入力漏れが生じにくい様式とするなど、できるだけ早期に導入ができるよう努めていきます。

「粗大ごみ・戸別訪問収集」
インターネット
導入する考え



岸上 敦子 議員



問 令和2年6月に社会福祉法などの一括改正法が成立し、断らない相談支援体制など、重層的支援体制整備事業が令和3年4月に施行されましたが、この事業を実施する考えについて伺います。

断らない相談支援
今後研究を進める

「断らない相談支援」と継続的なフォローによる「伴走型支援」などを一体的に行うこととされています。本町は、これまでも、複数の課題を抱えるケースなどは、福祉の総合相談窓口において、包括的な課題解消に向けて各種の支援制度に適切に結びつけられるよう取り組んでいます。

町長 市町村における重層的支援体制整備事業は生活課題等に対応する包括的な支援体制を構築するために、介護、障がい、子育て、生活困窮など様々な課題が複雑に交錯する困難ケースであっても、

今後は、この事業を導
 入するメリットや現在の
 支援体制などへの影響な
 どについて、慎重に見極
 める必要があるため、先
 進自治体の実績などもみ
 ながら、研究を進めてい
 きたいと考えています。

重層的支援体制整備事業

町の粗大ごみ収集処理申込券

[illegible]

粗大ごみの戸別訪問収集
電子申請の導入を検討中！

**成年年齢引き下げ
消費者被害の対策**




たまり 玉利 議員

問 民法の改正により、成年年齢が引き下げられ、消費者被害の拡大が心配されています。そこで、本町の対策について伺います。

**3月の広報紙に特集
SNSでの啓発活動**

町長 消費者被害の対策については、3月の町広報紙において、成年年齢引き下げをテーマとした特集記事で周知をしたほか、LINEやツイッターなどのSNSを活用し、消費者トラブルの防止に向けた啓発活動に積極的に取り組んでいきます。

ウクライナ避難者へ支援



問 ロシア軍の攻撃により、ウクライナ国民が避難を余儀なくされたため、公営住宅などの受入れをする自治体が増えています。そこで、本町でも支援を進めていく考えを伺います。

**生活物資は備蓄中
滞在用住居も確保**

町長 本町では、日本赤十字社を通じたウクライナ人道危機救援金の受付を開始しているほか、生活物資の支援依頼に備え、美化プラントでストックしているリサイクル家具の点検を行い、要請に応じ供出できるよう県に報

告しています。

また、避難民の滞在场所については、町営住宅の2部屋を確保していますが、出入国在留管理庁によると、現時点では国内の親族や知人の居住地への滞在を希望するケースが大半であることから、ウクライナ国籍住民が居住をしていない本町への滞在を希望する方はないようです。

今後においても、国や県との情報共有を密にしなが、支援を希望される方がいる場合には、温かく寄り添い、ニーズに応じた支援ができるよう努めていきます。

**眼科検診の実態
視力低下の認識**




こばやし けいこ 議員

問 学校における眼科検診の実態と視力低下に対する認識について伺います。

**10年前と結果比較
国同様に低下認識**

教育長 学校医等による健康診断の中で視力検査と眼科検診を実施し、視力はもとより、結膜炎や斜視の疑いがないかなどを確認しています。検診結果から10年前と比較すると、視力1.0未満の割合が、小学校では22%、中学校では10.6%増加しており、国と同様に低下傾向にあると認識しています。

近隣市町村のまちづくり条例

問 三増区のふれあいファミリアミーディングにおいて、農地転用による産業廃棄物処理業者等の進出を抑制する独自の条例を求める意見がありました。令和2年12月議会

で、町は解決策の1つとして、「まちづくり協定」の締結により、一定の抑止効果が得られるものと考えていると答弁しています。そこで、生活環境問題に対する町の認識と近隣市における住民の自主的なまちづくりに関する条例の制定状況及び内容について伺います。

町長 県と連携しながら違法性の有無を確認するとともに、状況を適切に把握し、住環境の改善に向けた指導に努めています。

都市施設課長 県央地区では厚木市などの4市で条例が制定されており、内容は、団体の登録、区域の指定、協定の締結などの手続き及び基準を定め、良好な住環境の整備や保全、住みよいまちづくりを推進することを目的とした内容になっています。



生活環境整備が求められる

教職員で情報共有 迅速な対応に努力

教育長 いじめの件数は、毎年一定数認知しています。学校が認知した場合、児童・生徒指導担当教員等を中心に、教職員がチームで情報共有し、組織的に対応することで、問題解決に向け適切かつ迅速な対応に努めています。今後も児童・生徒が安心して学校に通えるような環境づくりに取り組んでいきます。

問 小中学校におけるいじめの早期認知・早期解消に向けた現状と、解決に向けた取り組みについて伺います。

いじめの早期認知 解決への取り組み



いのうえ 井上



ひろあき 博明 議員



川北地区住民の意思を示した看板

相模原市と連携 住民の命を守る

町長 本計画は、現在も

問 津久井農場計画に対して、相模原市・尾根自治会及び本町の川北地区の住民は、土砂災害のおそれがあるとして反対を表明しています。令和3年9月議会で小野澤町長は、津久井農場について「相模原市長と連携し対応する」とされています。そこで、その後の対応について伺います。

津久井農場計画への対応

相模原市の地元の皆さんと本町の川北住民との意思疎通や合意形成が全く図られていないことから、2年以上手続きが止まっています。

今後本計画に対し、住民の命と財産を守ることを第一に考え、相模原市と連携を密にししながら、住民の命を守り、住民の皆さんが安全・安心に生活できるよう引き続き全力を尽くします。

【その他の質問項目】

災害時における救助体制の強化について

公文書管理システム 行政事務の電子化

町長 これまで行財政事務の効率化を図るため、文書の作成から保管、活用、廃棄までを一元管理する公文書管理システムのほか、予算執行、決算管理などの機能を有する財務会計システムを運用するなど、行政事務の電子化に取り組んでまいりました。

問 迅速かつ正確に事務を行っていくためには、更なる事務の効率化を図る必要があると考えます。そこで、これまでの取り組みについて伺います。

正確な事務作業 効率化も必要



くまさか 熊坂



たかのり 崇徳 議員

電子決裁システムの導入

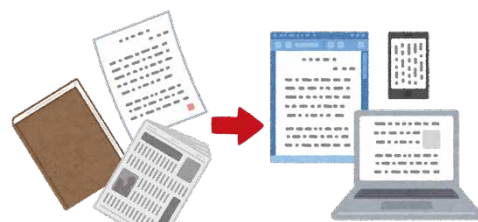
問 これまでの電子化の取り組みから、今後、決裁時間の短縮・削減が見込める電子決裁システムを導入する考えについて伺います。

合理化・効率化に期待 情報収集に努め研究

町長 電子決裁は、ペーパーレス化による紙の削減や、職員が決裁を受けるために書類を持ち回る必要がなくなるなど、行政運営の合理化、効率化が期待できます。しかしながら、膨大な添付資料

や大型図面が含まれる案件については、紙で添付したほうが視認性が良く、加えて電子決裁中の文書との関連付けをする処理が煩雑になり、新たな事務作業が発生する課題もあります。

よって、今後においては、引き続きデジタル技術の進展について注視していくとともに、国や先行自治体の取り組み状況などの情報収集に努めながら、研究を進めていきたいと考えています。



電子決裁システムによるペーパーレス化に期待

未曾有の事態の中
まちづくりへの想い



ばば つかさ 議員
馬場 司

り組んできました。特に、念願の温かい中学校給食については、多くの法的な課題・難題を職員とともに解決しながら実現できたもので、改めて感慨深く感じている事業の一つです。

今後においては、ワクチン接種をはじめとした感染症対策はもろろんのこと、誰もが健康で安心して暮らせるような様々な施策を打ち出し、誰一人取り残さないまちづくりを進めるとともに、時代の潮流を捉えた中で、次代を見据えた持続可能なまちづくりを目指していきます。

社会情勢の変化に伴う離職増

問 社会情勢の変化等により職員の離職が増えており、人事関係については県内の各市町村の首長も大変苦慮していると思いますが、本町の状況を伺います。

キャリアアップ・転職職員全員が仲間

町長 本町では、特に若い職員が自らの成長を望んだ「キャリアアップを考えての転職」といった理由等から離職をしている状況です。



私としては、不本意な離職だけは避けたいと思っていますので、職員全員が仲間として、良い雰囲気の中で一緒に頑張っているように、管理職には魅力ある上司になってもらい、全員で楽しく明るい職場をつくっていきたく考えています。

令和3年度 政務活動費収支報告

政務活動費は、条例に基づき、申請のあった会派及び会派に属さない議員に対して、調査研究に必要な経費の一部として、議員1人あたり月額1万円(年額12万円)が交付されます。交付額を超えた分の支出は議員が自己負担し、残額が生じた場合には町へ返金します。それぞれの活動報告書については、議会事務局で閲覧できます。

(単位:円)

会派名等	所属議員数	調査研究費 行政視察等に要する経費	研修費 研修会等参加に要する経費	広報・広聴費 広報・広聴活動に要する経費	資料作成費 活動に必要な資料を作成するために要する経費	資料購入費 図書・資料の購入に要する経費	事務費 活動に係る事務の遂行に要する経費	支出合計	収入額 所属議員1人あたり年額12万円	収支差額 (▲不足額) 不足分は議員の自己負担
公明党	3人	9,000	35,540	0	0	33,000	5,740	83,280	360,000	276,720
日本共産党 愛川町議員団	3人	9,000	10,000	420,421	0	0	15,970	455,391	360,000	▲ 95,391
あいかわの聲 ※1	3人 (5人)	15,000	150,813	266,300	0	76,740	12,750	521,603	480,000	▲ 41,603
令和あいかわ	3人	9,000	0	221,100	0	0	360	230,460	360,000	129,540
あすかみらい ※2	3人	0	0	133,650	0	16,907	960	151,517	150,000	▲ 1,517
佐藤 茂 議員	1人	0	0	82,720	0	7,370	0	90,090	120,000	29,910
(山中 正樹 議員) ※3	1人	0	0	60,000	0	0	0	60,000	10,000	▲ 50,000

※1 令和3年9月に所属議員数変更(5名⇒3名) ※2 令和3年11月に会派結成(3名) ※3 令和3年10月 山中議員無所属

第24回 議会クイズ

問1 町は高規格救急車を購入しますが、取得価格はいくらでしょうか？

①2,172万5千円 ②217万5千円 ③21万5千円

問2 各議員が議案に対して、賛成または反対の意思表示することを議会用語で何というのでしょうか？

①請願 ②陳情 ③表決

問3 3年ぶりに開催された町民との意見交換会に参加された方は合計で何名でしょうか？

①10名 ②20名 ③30名

クイズの答えはこの議会だよりのどこかにあります。正解者の中から抽選で3名の方に商品券をお贈りします♪たくさんのご応募をお待ちしています！



©愛川町

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また、**必ず**議会だよりの感想等をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。**紙面の見やすさなどについてもご意見をお聞かせください。**

《しめきり》 7月29日（金）（郵送の場合は当日消印有効） ☆正解と当選者は次号で発表します。

《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392
角田251-1 議会事務局
●ファクスの場合 046-286-5021
●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

●オンラインの場合
右記の2次元コード
を活用して、応募が
できます。



第23回議会クイズの 答えと当選者

前号の議会クイズの正解と当選者は次のとおりです。

《正解》

問1・②約251億円
問2・③ロシア軍
問3・①5月17日

《当選者》

杵澤 智美 様
郷治 あゆみ 様
田代 和子 様

令和4年度町村議会 議長・副議長研修会

日時 令和4年5月30日（月）
場所 東京国際フォーラム
出席議員

・渡辺 基 議長
・木下真樹子 副議長

内容 「町村議会のあるべき姿」
講師 東京大学名誉教授
大森 彌氏

他3講義

議会用語解説

普段、馴染みのない議会用語を一部紹介します。

議会用語	解説
せい がん 請 願	住民のみなさんが国会や地方公共団体に対し、要望や希望を文書により述べることです。紹介議員の記名押印（1名以上）が必要です。請願は、憲法で認められた国民の権利のひとつです。
ちん じょう 陳 情	国会や地方公共団体に対し、要望や希望を述べることで、実質的には請願と同じですが、紹介議員は必要ありません。
とう ろん 討 論	表決の前に、議題となっている案件に対して賛成か反対かの自己の意見を表明することです。単に賛否の意見を明らかにするだけでなく、意見の異なる相手を自己の意見に同調させることにその意義があります。
ひょうけつ 表 決	各議員が議案に対して、賛成または反対の意思表示をすることをいいます。

第9回町民との意見交換会を開催

日時：5月20日(金)午後7時から8時30分まで 場所：愛川町役場2階 議場

3年ぶりとなる町民との意見交換会を開催しました。当日の様子を一部紹介します。

3年ぶりの開催となりましたが、事前予約された15名の方が議場に来場し、オンラインでは5名の方にご参加いただきました。

3年ぶりの開催で
合計20名の方が参加



毎年開催していましたが、「町民との意見交換会」は、新型コロナウイルスの影響で2年連続中止となっていました。今年も、感染対策を徹底し、初の試みとなる議場とオンラインによる同時開催としました。

議場とオンラインで
今年は同時開催！



議場での意見交換会の様子

来場された方は、議員席に座り、初めての議場の雰囲気、緊張されている様子もありましたが、意見交換会では、活発な意見が飛び交いました。



議員各自の役割分担などを最終確認の様子

住民目線による様々な提言

意見・要望等要旨

中津川河川敷でキャンプをしているマナーの悪い人に対し、町として何か対策をとるべきだと思います。有料化へ向けた取り組みをお願いします。

ごみ集積場の設置や維持管理などは、行政が一元的に管理するとともに、不法投棄をやめさせるために、町の条例で整備をする必要があると思います。

ホームページでの掲載内容について、必要な情報が探づらいと感じます。キーワードなどからもっと簡単に検索ができるように工夫してください。

当日の回答

現在は、田代運動公園近くに環境美化協力金の募金箱を設置するなど、啓蒙活動に力を入れています。八菅山、田代、半原など、河川敷の利用場所によって差がないように町と一体的に考えていきたいと思っています。

ごみの集積場については、町へ報告させていただきます。条例については、「愛川町みんなで守る環境美化のまち条例」において、指導・勧告・命令に従わない時は、過料を定めていますので、不法投棄の対応については、条例等が適正に施行されるよう伝えます。

令和4年度末にホームページのリニューアルを予定していますので、提案のありました内容を町に伝えます。

その他の主な意見・要望等要旨

「観光・産業連携拠点づくり事業」について、定期的に町広報紙への特集記事を掲載するなど、もっと積極的な周知をお願いします。

My City Report (マイシティレポート) を町で導入すると良いと思います。

町職員の中途退職者が非常に多いという話をよく耳にします。実際に中途退職者が多いという実態把握と、それに対する対策をお願いします。

若者の支援について、ヤングケアラーへの実態調査をするとともに、具体的な支援策について検討をお願いします。

意見交換会を開催するにあたり、若い世代の人たちにも参加しやすいテーマを設定し、複数回開催してはどうでしょうか。

議会だよりの掲載記事について、一般質問の内容が難しいと感じるので、誰が読んでも理解しやすい表現にするべきだと思います。



オンラインで参加された方も交えて
活発な意見交換ができました

貴重なご意見・ご提案をいただきありがとうございました



町ホームページ

紙面の都合ですべてのご意見を紹介できませんでしたが、このほかにもたくさんのご意見・ご要望をいただきました。当日出席された方からのご意見等は内容等を精査し、必要に応じて町へ要望します。

なお、意見交換会の詳細は、町ホームページに掲載しております。



令和4年第3回9月定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名
8	31	水	本会議(提出議案の説明)
	1	木	本会議(一般質問)
	2	金	本会議(一般質問)
	6	火	本会議(個人総括質疑・討論・採決)
	8	木	本会議(会派代表総括質疑)
9	13	火	総務建設常任委員会
	14	水	教育民生常任委員会
	15	木	総務建設常任委員会
	16	金	教育民生常任委員会
	22	木	本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)

次回9月定例会は次のとおりです。会議はいつでも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、8月22日に開催する予定です。

日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

町ホームページでもご覧になれます。

議会だよりは、愛川町録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用にCD化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。

Tel 046・285・2111
(内線3792)

次回定例会のお知らせ

あいかわ ほっこり写真館

梅雨の蒸し暑さが終わりを迎え、青空と白い入道雲のコントラストが美しい季節がやってきました。新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向となり、少しずつ普段の日常に戻りつつありますが、夏休みの予定はもうお決まりですか？

今号でも、各委員が町内を巡り、愛川町の新しい魅力やほっこりを写真に収めてきましたのでご覧ください。



連休中も平山橋ライトアップ(田代)



内陸工業団地から見下ろす中津の街並



ボク、5月に内陸工業団地で保護されたんだよ



畑で除草隊のヤギが活躍(三増)

◎議会クイズは11ページに掲載しています。

編集後記

今号では、3年ぶりに開催した「町民との意見交換会」の様子を掲載しています。議場とオンライン合わせて、20名の方が参加され、数多くの貴重なご意見・ご要望などをお聞きすることができました。また、議会クイズの応募者が35名と過去最高となり、一人でも多くの方が議会だよりをご覧になっていることを嬉しく思います。

今後も、町民の皆様に少しでも議会活動の様子をお伝えできるように努力していきます。

そして、まだまだ酷暑が続きますので、体調を崩されないようご自愛ください。

広報広聴常任委員会

委員長 岸上 敦子
副委員長 茅 孝之
委員 玉利 優
委員 阿部 隆之
委員 熊坂 徳子
委員 小林 敬己
委員 井出 一樹
委員 山中 正樹
委員 小島 総一郎
委員 井上 博明